

2023年度／単年度計画

2023年度取組方針

✈ 基本的な考え方

「リージョナル・ランドマーク・エアポート」の実現に向け、公共施設等運営権制度の下での新たな組織・運営体制及び県・促進協と連携した航空営業体制を確立するとともに、二次交通施策の検討や新規就航受入のための環境整備などに取り組みます。
アフターコロナ（自由な/制約の少ない往来）に向けた急回復に各段階で追従・リードするとともに、その先の需要拡大を見据えた戦略立案と打ち込みを実行する。

✈ 旅客数等目標値

区分		2022年度 (見込)	2023年度 (計画)
旅客数		35万人	70万人
国内線		35万人	49万人
国際線		0万人	20万人
貨物取扱量		12t	91t
国内線		12t	34t
国際線		0t	57t

静岡空港お見送りプロジェクト（2022年）



モザイクアートプロジェクト（2022年）



✈️ 空港活性化に関する計画

旅客数及び貨物取扱量の増加

- 提供座席数の引き上げに向けた活動
- 搭乗率を向上するための活動
- 料金体制の整備
- アクセスバスの路線維持・利用促進
- 本格復便・新規路線拡大に向けた新ファシリティの運用

空港利用者の利便性拡大向上

- ストレスのない空港滞在時間の実現
- 二次交通の維持・強化
- JNTOカテゴリー3に向けた準備

旅客ターミナルビル入館者数の増加・ビジネスジェット等の利用拡大

- 空の日や富士山の日等を通じた集客イベントやテナント販促イベントの実施
- 空港周辺地域と県中西部をターゲットとした媒体物の作成・配布
- ビジネスジェットに係る諸官庁や事業者との利用拡大に向けた協議

地域連携事業

- 県内観光資源と連携した旅行商品やイベントの造成
- 県内DMOや地域企業と連携した地域の観光資源等の情報発信
- 「空のしおり-3776-」の利用促進

任意実施事業

- 西側用地の賑わい施設整備に向けた準備
- カーボンニュートラルに向けた計画策定と具体検討

✈️ 空港運営に関する計画

安全・安心の確保

- 国際線の早期復便を可能とする効率的かつ安全な保安体制の構築
- A2-BCPに基づく滞留者対応力の向上
- 空港利用者の感染症対策への柔軟な対応
- 緊急時の空港運用体制強化

運営の効率化

- DX等を活用した空港運用業務効率化の推進
- 新技術による施設管理のシステム化、省力化



担架搬送訓練の様子（2022年）

施設の高寿命化及び更新投資の効率化

- 被災法面の早期復旧と予防保全の強化
- 航空灯火LED化に向けたロードマップ策定
- 空港特殊設備の管理ノウハウを活用した効率的な更新

